

NEWS RELEASE

デジタルガレージ、台新銀行のクレジットカード会員向け 越境ECモール「Buy日貨」を開設 ～日本国内サプライヤーの海外販路拡大を支援～

株式会社デジタルガレージ（東証一部 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO：林 郁、以下：DG）は、台新国際商業銀行（本社：台北市中山區、以下：台新銀行）と協業し開発した、台新銀行のクレジットカード会員向け越境ECモール「Buy日貨（<https://www.buy-jp.com.tw>）」を、2018年11月29日（木）にグランドオープンします。

今回、DGは「Buy日貨」の開発にあたり、2018年3月に公開した越境ECモールのプラットフォーム*1を台新銀行に提供します。台新銀行は本プラットフォームを利用することで、台新銀行のクレジットカード会員に対し既存のオンラインサービスで付与しているIDとパスワードで「Buy日貨」の提供が可能です。台新銀行のクレジットカード会員は、クレジットカードの利用額に応じて付与された台新銀行ポイントを、決済時に対価の一部として利用できます。台新銀行はこれまでに約472万枚*2のクレジットカードを発行しており、「Buy日貨」の提供を通じてカード利用の促進を目指します。

DGは国内サプライヤー向けに商品の管理から配送、通関業務まで一貫して代行するほか、台新銀行が保有するホームページやメールマガジン、店舗内のサイネージなどの広告チャネルを利用し「Buy日貨」への集客を行います。国内サプライヤーは、高い消費の意向を持つクレジットカード保有者にリーチすることが可能となります。



今後もDGは台湾をはじめとするアジア各国・地域で、クレジットカードや共通ポイントサービスを展開する大手企業と提携し、各企業のニーズに適した越境ECモールを開発・運営する予定です。DGは国内サプライヤーと海外企業を同時に支援する越境ECスキームを提供することで、双方の「事業戦略パートナー」となることを目指します。

NEWS RELEASE

「Buy日貨」サイト：<https://www.buy-jp.com.tw>



※サイトイメージ

*1：関連リリース：「デジタルガレージ、海外企業との提携による越境ECモール開発を通じ、国内サプライヤーの海外販路拡大を支援」（2018年3月28日発表）

<https://www.garage.co.jp/ja/pr/2018/03/20180328.html>

*2：台新銀行による2018年4月末時点でのカード発行枚数

【デジタルガレージについて】 <https://www.garage.co.jp/>

デジタルガレージは、インターネットサービスにおける投資・育成支援事業、マーケティング事業、グローバルオンライン決済事業の3つの事業を軸に展開する東証一部上場企業です。

マーケティングテクノロジーカンパニーは、マーケティング事業を担当するマーケティングテクノロジーセグメント (<http://dgmt.garage.co.jp/>) の中で WEB プロモーション、WEB ストラテジー、CRM ソリューションなどのデジタルマーケティング施策を提供します。最先端のテクノロジーを活用し、フルファネルマーケティングや広告手法の多角化へ対応するとともに新サービスの開発に取り組み、クライアントの事業を成長へと導く「事業戦略パートナー」としてマーケティング活動を支援します。

【台新銀行について】 <https://www.taishinbank.com.tw/>

台新銀行は、台新フィナンシャルホールディングス（台新 FHC）の子会社です。台新 FHC は 2002 年に包括的で多様な金融サービスの提供を目的として設立されました。そのビジョンは「中国語圏における金融グループのトップであること」です。

台新銀行は、創業当初からイノベーションスピリットを経営理念とし、お客様にとって最良のパートナーであることを追求し続けています。